

■ 投 稿 規 定 ■

<2025 年 1 月 1 日より適用>

【投稿にさいして】

1. 人を対象とする医学系研究は、世界医師会による最新のヘルシンキ宣言に示された倫理規範を遵守してください。また、文部科学省および厚生労働省が提示する“人を対象とする医学系研究に関する倫理指針”“ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針”“遺伝子治療臨床研究に関する指針”などの各種“指針”を遵守してください。
2. 「投稿にあたっての著者署名・チェック用紙」に“本論文の内容は、他誌に未発表であり、現在投稿中ではない”旨を**著者全員の署名および日付**とともに明記し、添付してください（別紙参照）。
3. 「利益相反に関する著者チェックリスト」を添付してください（別紙参照）。また、利益相反の有無を本文の最後に明記してください。例：利益相反なし。利益相反あり：本研究は***会社より機材の提供を受けた。
4. 臨床研究（薬物の適用外使用なども含みます）については、適切な形で患者・被験者の承認、ならびに所属施設の承認（承認番号記載）を受け、その旨を本文中に記載してください。
5. 動物実験については、所属施設の承認（承認番号記載）を得るとともに、動物実験実施規定に準拠して行われたものであることを本文中に記載してください。
6. 症例報告については、患者（または両親や保護者など）のプライバシーの侵害とならないよう、インフォームドコンセントを必ず取得し、本文中にもその旨を記載してください。

【執筆にさいして】

1. 論文タイトルは簡潔・的確につけてください。
2. 総説，原著，講座は 300 字以内／症例対照研究，症例集積研究，紹介は 200 字以内／速報，症例報告は 150 字以内の“要旨”をつけてください。要旨は論文の最初に出し、内容を簡潔にまとめ、結果と結論を明瞭に記述してください。
3. 考察の最後には、行を改めて 100 字以内の結論をつけてください。
4. 要旨および本文中で略語を用いる際は、必ず初出時に正式名を併記してください。
5. 本文の文頭に **3-5 語の和文キーワード**を付記してください。
6. 総説：**8 頁**以内／原著，講座，症例対照研究，症例集積研究，紹介：**6 頁**以内／速報，症例報告：**3 頁**以内／LETTER TO THE EDITOR：**1000 字**以内にまとめてください。頁数計算の目安として、本文 400 字×4.5 枚（タイトル頁は 3.5 枚）で 1 頁，引用文献数 20 で 1 頁，ABSTRACT 200 語（本文）で 0.5 頁となります。図・表については、本誌参照のうえ適宜ご考慮ください。本文の文字数は、A4 判 1 枚に 400 字としてください。
速報につきましては“Preliminary Report”として英文での投稿も受け付けます。
“Preliminary Report”の投稿について：研究途中でまだ一部の成果しか出ていないもの、原著にまとめるまでには時間がかかりそうなものなど、興味ある知見をいち早く英文で発表したい場合にご利用ください。掲載後は、原著での投稿が可能となります（他誌への投稿の際には必ず引用すること）。速報性があるか否かは編集委員会で判断いたします。掲載頁数は、原則と

して本誌頁数で**3 頁**以内とします。以下の要項で、ご執筆ください。用紙：A4 判，文字：10.5 ポイント（行間ダブルスペース），本文語数：1000 語以内（本文末尾に“ABSTRACT”100 語程度を記載），図・表：1-2 枚，引用文献：必要最小限。

7. 用語は日本麻酔科学会編“麻酔科学用語集第 5 版”および日本医学会医学用語管理委員会編“日本医学会医学用語辞典 WEB 版”に準拠してください。文中の外国語は人名などを除き、できるだけ前記 2 書の訳語を使用してください。

8. 薬品名は原則として一般名を用い、表記方法は日本語を用いてください（日本医薬品集フォーラム監修“日本医薬品集 医療薬”参照）。

9. 単位は、 $\text{mg} \cdot \text{kg}^{-1} \cdot \text{min}^{-1}$ などの表記法を用いてください。

10. 日本麻酔科学会などの学術集会において発表した内容は、必ずその旨（学会名，西暦年，開催都市名）を本文末尾に付記してください。

11. 引用文献数は原則として主要文献 **20 以内**とし、これを本文末尾に引用順にまとめてください。著者名の記述は **6 名**までとし、それ以上は“ほか”あるいは“et al”としてください（下記参照）。

★雑誌の場合

著者名（6 名まで）. 題名. 誌名（正式略称）発行年（西暦）；巻数：開始頁-終了頁（略記）。

〔例〕大井彩子, 林 浩伸, 高谷恒範, 本山 靖, 中瀬裕之, 川口昌彦. 頭蓋底腫瘍摘出術における経頭蓋電気刺激による顔面神経運動誘発電位モニタリングの信頼性の検討. 麻酔 2019；68：354-62.

〔例〕Ichino T, Tanaka S, Tanaka R, Tanaka N, Ishida T, Sugiyama Y, et al. Transcranial motor-evoked potentials of laryngeal muscles for intraoperative neuromonitoring of the vagus nerve during thyroid surgery. J Anesth 2019；33：221-9.

★書籍の場合

著者名. 章名. 監修・編集者名. 書名. (巻数. 版数.) 発行都市名：出版社名；発行年（西暦）. 開始頁-終了頁（略記）。

〔例〕石田和慶, 山下敦生, 若松弘也. 大血管手術での脊髄電気生理学的モニタリング. 松本美志也編. 麻酔科医・集中治療医のための脳波解析と電気生理学的モニタリング. 東京：克誠堂出版；2016. p.167-82.

〔例〕Fukuda K. Opioid analgesics. In：Miller RD, editor. Miller's anesthesia. Vol 1. 8th ed. Philadelphia：Elsevier；2015. p.864-914.

12. ABSTRACT（論文タイトル，全著者名，所属，本文，key words）：① 本文語数は，総説，原著，講座は 200 語以内／症例対照研究，症例集積研究，紹介は 150 語以内／速報，症例報告は 100 語以内で記述してください。② 原著およびそれに準じる論文の場合は，構造化抄録の形式：**Background, Methods, Results, Conclusions** の項目順に執筆してください。③ 文末に **3-5 語の key words** を記載してください。④ 本文の行間は 2 倍以上開けてください。

13. 図・表中の用語および説明文はできるかぎり日本語にしてください。

他書誌より転載した図表については，**著者が責任をもって必要な許諾をお取りください**。各図表の説明文の下には出典を明記してください。

【諸権利について】

近年，複写機やインターネットの普及によって，著作物の無断複写が頻繁に行われています。無断複写等を防ぐために，執筆の先生方と小社との間で以下のお約束をお願いいたしたく存じます。

1. 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は，克誠堂出版（株）に譲渡されたものとします。

2. 著作物の二次利用（複製，転載など）の許諾

は、一切の改変がない、もしくは内容の同一性を損なわないほどに軽微な改変である場合に限り、著者の確認なしに小社が行えるものとしします。

3. したがって、前々項および前項の諸権利の許諾は小社ないしは小社から委託した管理団体が行いますが、著者自身の使用を拘束するものではありません。再利用される場合は、事前に小社あて、ご一報ください。

【その他】

1. 規定の頁数を超過する場合は、**実費を負担**(本誌 1 頁あたり 22,000 円)していただきます。

至急掲載希望の論文はその旨お申し出ください。査読後、**特別掲載**といたします。この場合は、全頁の実費負担となります。

2. 編集作業上、用語および漢字・かな使いは当

編集室で訂正することがあります。

3. 原稿の掲載号数・分類は編集委員会にお任せ願います。別刷は有料で作製いたします(弊社サイトの料金表を参照、発送は本誌発行約 1 カ月後)。必要別刷部数は原稿の表紙に朱記してください。

4. 動画掲載ご希望の場合は当編集室にお問い合わせ下さい。

【投稿先について】

2021 年 6 月 1 日より、投稿はオンラインのみの受付となります。投稿にはオンラインシステム Editorial Manager[®]を用います。ご利用には別途アカウント登録が必要です。

詳細は弊社ホームページ (<http://www.kokuseido.co.jp/masui/>) をご確認ください。

—————“麻酔”誌投稿の際のチェックポイント（著者用：提出不要）—————

1. 投稿にさいして

- ☐ 各種“指針”の遵守
- ☐ 人を対象とした
前向き介入臨床研究

{	☐ 被験者からのインフォームドコンセントの取得 ☐ 倫理委員会の承認と承認番号 ☐ しかるべき登録サイト名と登録番号（1 研究につき 1 登録）
---	---
- ☐ 後ろ向き臨床研究：倫理委員会の承認と承認番号などを本文中に明記
- ☐ 臨床研究ならびに症例報告：書面による同意を取得したことを本文中に明記
- ☐ “投稿にあたっての著者署名・チェック用紙”の添付
- ☐ “利益相反に関する著者チェックリスト”の添付

2. 執筆にさいして

- ☐ 本文は A4 用紙に 400 字詰め〔10.5 ポイント前後、行間 6 mm 以上、20 字×20 行フォーマット（周囲の余白 30 mm 程度）〕で作成
- ☐ タイトル頁への記載事項：論文タイトル、全著者名と所属機関名〔研究を行った（症例を経験した）機関を記載。現所属を明記する必要がある場合は括弧書きで記載〕
- ☐ 頁ナンバーの記入 ☐ 論文タイトルの簡潔・的確な表記
- ☐ 総説，原著，講座の要旨は 300 字以内／症例対照研究，症例集積研究，紹介の要旨は 200 字以内／速報，症例報告の要旨は 150 字以内
- ☐ 本文の文頭に和文キーワード，ABSTRACT の文末に英文キーワードをそれぞれ 3-5 語付記
- ☐ 研究にあたって倫理委員会の承認を得ている場合は，その承認番号も明記
- ☐ 本文末尾に 100 字以内の結論
- ☐ 略語の使い方（初出か所に正式名称を併記）
- ☐ 用語（麻酔科学用語集第 5 版および日本医学会医学用語辞典 WEB 版に準拠）
- ☐ 薬品名の一般名表記（日本医薬品集 医療薬に準拠）
- ☐ 単位の表記（ $\text{mg} \cdot \text{kg}^{-1} \cdot \text{min}^{-1}$ ， $\text{mg} \cdot \text{day}^{-1}$ ， $\text{IU} \cdot \text{l}^{-1}$ など）
- ☐ 機器名の表記：商品名（® または TM を付記），メーカー名，所在地を記載
- ☐ 利益相反の有無および発表した学会・研究会名（発表年，開催都市名）を本文末尾に付記
- ☐ 図・表の入る位置を本文中に明記 ☐ 引用文献数 20 編以内（総説，講座を除く）
- ☐ 引用文献の表記法（投稿規定参照，10 ポイント，40 字×20 行フォーマット）
- ☐ ABSTRACT 本文語数：総説，原著，講座は 200 語以内／症例対照研究，症例集積研究は 150 語以内／速報，症例報告は 100 語以内（10 ポイント，行間ダブルスペース本文冒頭に表題，全共著者名，所属を記載）
- ☐ 原著およびそれに準じる研究論文の ABSTRACT は，Background, Methods, Results, Conclusions の項目順に記述（構造化抄録）
- ☐ 日本語表記の図・表説明文 ☐ 図・表の出典名を明記（許諾済）

3. その他

- ☐ 諸権利についての了解 ☐ 特別掲載（実費負担）希望の有無
- ☐ カラー印刷（実費負担）希望の有無
- ☐ 必要別刷部数（有料） ☐ 規定頁数を超えた場合の実費負担の了解

《投稿にあたっての著者署名・チェック用紙》

論文表題：~~~~~

~~~~~  
〔チェックボックスに✓を記入〕

- ☐ 本研究の遂行・執筆にあたっては、各種の“指針”を遵守し、その責務を全著者が負うものとする。
- ☐ 本論文の内容、あるいはその一部は

☐ 本誌・他誌とも未発表である。  
☐ 現在どの雑誌へも投稿中でない。  
☐ 本誌掲載決定後も発表しない。
- ☐ 臨床研究ならびに症例報告にあたってはインフォームドコンセントを取得済みである。

以上を確認のうえ，“麻酔”に投稿します。

著者および共著者の署名

|       |       |
|-------|-------|
| 年 月 日 | 年 月 日 |
| _____ | _____ |
| 年 月 日 | 年 月 日 |
| _____ | _____ |
| 年 月 日 | 年 月 日 |
| _____ | _____ |
| 年 月 日 | 年 月 日 |
| _____ | _____ |
| 年 月 日 | 年 月 日 |
| _____ | _____ |

※掲載希望分類（✓を記入）

- ☐ 総説  
☐ 講座  
☐ 症例集積研究  
☐ 速報（☐ Preliminary Report）  
☐ LETTER TO THE EDITOR
- ☐ 原著（☐原著以外は取り下げる）  
☐ 症例対照研究  
☐ 紹介  
☐ 症例報告  
☐ 編集委員会に一任

● 掲載分類の最終決定は，編集委員会が行います。

（コピー使用可）

### 《利益相反に関する著者チェックリスト》

利益相反は、通常的に起こりうる回避できない事象であると、本誌“麻酔”は認識しております。“麻酔”への論文投稿に際しては、各著者は利益相反に関する質問事項に回答したチェックリストを添付してください。例外もあるかとは存じますが、その場合は査読過程において考慮したいと考えております。

基本的には、“麻酔”はすべての情報を開示したいと考えております。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

必要事項を記入し、各質問事項に対しては適切なほうに“✓”でチェックしてください。“はい”に“✓”をチェックされた項目については、それぞれ内容の説明文を付けてください。

各質問への対象者は、著者全員とその近親者を指します。

論文題名 \_\_\_\_\_

筆頭著者名 \_\_\_\_\_ 共著者名 \_\_\_\_\_

1. 本論文によって財政的に影響を受ける組織・企業からの金銭的援助（講演料、コンサルト料、報酬金、旅費、贈与、研究費など）がありますか。

はい [        ]        いいえ [        ]

“はい”の場合の内容

\_\_\_\_\_

2. 本論文によって財政的に影響を受ける組織・企業の雇用履歴はありますか。

はい [        ]        いいえ [        ]

“はい”の場合の内容

\_\_\_\_\_

3. 本論文によって財政的に影響を受ける組織・企業の管理者（例えば役員、指導者）などの職に就いたことはありますか。

はい [        ]        いいえ [        ]

“はい”の場合の内容

\_\_\_\_\_

4. 本論文によって財政的に影響を受ける組織・企業の株、投資などを保持していますか。

はい [        ]        いいえ [        ]

“はい”の場合の内容

\_\_\_\_\_

5. 本論文の知見は直接的、間接的にあなたの報酬に影響を及ぼしていますか。

はい [        ]        いいえ [        ]

“はい”の場合の内容

\_\_\_\_\_

6. そのほかに編集者に知らせるべき相反の可能性はありますか。

はい [        ]        いいえ [        ]

“はい”の場合の内容

\_\_\_\_\_

(コピー使用可)